

2021年10月15日

大阪信愛学院小学校

面談者：岩熊校長、高橋入試部長代理 他

・信愛学院小学校で大切にしている点

カトリック精神に基づく「人間力」を形成する

→健やかな心と体、考える力、豊かな人格の形成

学校の雰囲気も優しく、居心地の良い校風づくりを心掛けている。

・信愛学院小学校での学び

正解を求めず「考える力」と「伝える力」を育てる人間性を高める教育を行う

テーマに沿って自分の考えや意見を持ち、周りの意見を分かち合う「探求型アクティブラーニング」

教科書での学びではなく、多くの実験を通し、深い理解を目指す理科の授業

専門教員による独自性の高い情報教育が目玉

信愛学院小学校では20年近く前から情報教育を行っており、現在では専門教員が1～6年生までの総合的なカリキュラムを作成。カリキュラムも時代の変化に合わせて、毎年見直しを行っている。

3年生までに基礎、リテラシー、4年生ではプログラミングを学び、5.6年生ではセンサーを使った工作、AIプログラミングを行い、社会出ても役立つ能力育成を行う。

情報教育を通して、社会問題解決につながられるような教育を行っている。

例：南海電車との共同企画（列車の遅延問題をフローチャートに落とし込み、解決方法を模索、プログラミングによる解決を図るなど）

その結果、ロボット大会での入賞も果たしている。

・信愛学院小学校の良いところ

穏やかな校風

大阪市内では珍しいスクールバスの運用

5コースを運行しており、どこからでも安心、安全の登下校が可能

受験について

・ペーパーテスト、行動観察、親子面接があるが、どのように取り組んでいるか重視する。難しい問題が出たときにすぐに諦めるのではなく、諦めずに取り組めるか、行動観察では礼儀正しく、ルールを守れるか、親子面接では親子関係、普段の生活でのかかわりを見ている。

そのため特別な受験対策は必要なく、日々の生活、親子関係がとても重要である。